

中部農業改良普及 センターだより

e-mail : CE0017@pref.iwate.jp

ホームページはこちら→



令和8年2月発行 第20号

◇中部農業改良普及センター

TEL : 0197-68-4464

◇西和賀普及サブセンター

TEL : 0197-82-3125

◇遠野普及サブセンター

TEL : 0198-62-9937

「令和7年度いわて農林水産躍進大会」管内受賞者を紹介します！

12月23日、盛岡市内で「いわて農林水産躍進大会」が開催され、いわて農林水産振興協議会から農林水産業の発展に貢献した農業者・団体等が表彰されました。管内からの受賞者をご紹介します。

いわて農林水産振興協議会会長表彰

○明日を拓く担い手賞（農業部門）

農事組合法人なべくら（花巻市）

主食用米、小麦等を中心に作付け。小麦では種子生産にも取り組み、長年にわたり優良種子を供給。また、地域の中心組織として、組合員の家族や後継者に日頃から共同作業参加への誘導を行うなど、地域内のコミュニケーションを密に取り、経営参画が円滑に図られるよう工夫するなど、後継者不足解消に向けて活動。



○活力とうるおいにあふれた「むらづくり」賞

農事組合法人かみごう農産（遠野市）

上郷地区の営農を担う組織として、農地の借り受け、農作業の共同化と受託を通じて水田農業の発展に寄与。水稻、大豆に加え、ピーマン等を栽培することで、収益向上のほか、地域の高齢農業者や女性の労力を活用した雇用創出の仕組みを確立。また、社会福祉協議会と連携して収穫体験を行うなど、農福連携の活動も実施。



農事組合法人なべくら

いわて中山間賞

土淵町農村活性化協議会（遠野市）

土淵町における遊休農地の増加や地域の旧校舎の活用、小集落のコミュニティ維持などの課題解決に向け、令和4年度に設立。旧校舎を活用した日替わりレストランの開業等により交流の場を創出し、高齢者の活躍や生きがいづくりにつなげているほか、市民農園の設置や高級メロンの栽培に取り組み、遊休農地の解消に向けて積極的に活動。



「いわてアグリベンチャーネット」にて、普及活動等の現地情報を随時発信しています。
是非ご確認ください。

こちらから →



岩手県農業農村指導士

3名が認定期間満了 これまでのご活動に感謝！

2月3日、盛岡市内で「岩手県農業農村指導士認定書交付式・感謝状贈呈式」が開催されました。管内から、今年度で認定期間満了を迎える3名の指導士をご紹介します。

千葉欣哉 さん（北上市）

JA 鉢花生産部会役員を歴任し、りんどう県オリジナル品種の積極的導入と栽培方法確立により他産地との差別化を図る等、ブランド力向上にご尽力いただきました。また、農業体験等、地域農業の理解促進に向けた活動を通じ、次世代の担い手育成にも寄与されました。



菊池明美 さん（遠野市）

生活研究グループ連絡協議会長として、農村生活の向上や女性活躍推進に向けた活動に取り組んでこられました。また、伝統野菜である「暮坪かぶ」の栽培技術を伝承するとともに、加工品の開発等、地産地消の推進と地域ブランドの創出にご尽力いただきました。



高橋到 さん（西和賀町）

作業受託やそば等の畑作物の導入により経営規模を拡大し、農地の維持にご尽力いただくとともに、生産面では、疎植栽培を導入し、コスト低減を図りながらも良質な米作りを実践されました。また、農業大学校の農家体験研修を受け入れるなど、次世代の担い手育成にも貢献されました。



長きにわたり本県の農業振興にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

2名が新たに指導士として認定されました！

よろしく
お願い
します！



昆野勇夫 さん（北上市）



消費者により満足してもらえる果樹づくりを実践するとともに、次世代にも栽培技術を伝え、地域貢献にも引き続き取り組んでいきたいです！



<経営概要>

りんご 280 a、洋梨・和梨 20 a、水稻 130 a

渡邊和成 さん（北上市）

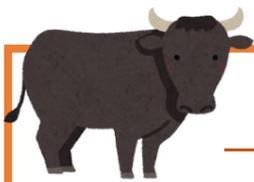


農業者だけではなく地域住民との交流促進や小中学校と連携した食育活動等を通じて、持続可能な地域農業の実現を目指していきたいです！



<経営概要>

水稻 16ha、小麦 14ha、大豆 9.4ha



農事功績者表彰で千葉洋子さん（北上市）が受章！

令和7年11月、北上市の黒毛和種繁殖・肥育一貫経営の千葉洋子さんが公益社団法人大日本農会の農事功績者表彰事業において、「緑白綬有功章」を受章しました。

この事業は、農事改良の奨励または実行上功績顕著な人、農業上の有益な発見または研究を行い功績顕著な人等に対し、総裁(秋篠宮皇嗣殿下)の御名をもって表彰を行うもので、今回で第109回を迎える歴史と名誉のあるものとなっています。

千葉さんは、親交のあった獣医師の助言の下、肥育牛の血液検査を導入して栄養の過不足を客観的に把握することで生産効率の維持向上を行うなど、先進的な取組を行ってきました。また、視察の受け入れ、講師活動を通じての自身の知見の波及や、「ビーフレディースきたかみ」を立ち上げ、代表として「きたかみ牛」の消費拡大に向けた情報発信を行ったり、地元の食材を活用した牛肉に合うドレッシングの開発など、地域の畜産業の発展に大きく貢献してきた、いわば北上の和牛界の「レジェンド」的存在です。

受章について千葉さんは「ここまで来られたのは、亡くなった夫や地域の人たちが導いてくれたから。今回の受章は、今までの人生を認めてもらえたような気持ちで、感謝の気持ちでいっぱいです」と語りました。



普及活動の紹介

法人化する前に考えるべきことは？

～経営力向上に向けた研修会を開催しました～



12月11日、花巻市、北上市、遠野市及び西和賀町の重点支援対象者等を対象に、「経営力向上に向けた研修会」を開催しました。この研修会は、幅広い人材の確保や経営の安定化のため、法人化を志向する生産者などが法人化に関する理解を深め、経営力向上に繋げることを目的に開催したもので、生産者12名と関係機関17名が参加しました。

まず、中小企業診断士の土岐徹朗氏から、農業経営の法人化の意義や個人経営との違い、注意点等について講演をいただきました。

続いて、管内での法人化の事例として、令和6年3月に株式会社化した株式会社アンビシャスファーム代表理事の佐藤孝志氏から、法人化の経緯や経過、経営者としての心構え、今後の展望等について事例報告いただきました。

参加した生産者からは、「法人化について理解が深まった」、「法人化する際のポイントやメリット・デメリットについて参考になった」といった感想や、「法人化に関する手続きの詳細や労働力の確保について知りたい」という意見をいただきました。

普及センターでは、今後もさらなるステップアップを目指す生産者の経営発展を継続して支援していきます。

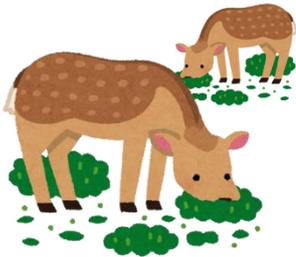


シカによる農作物被害を減らそう!! 獣害対策の実証

遠野地域は野生動物による農作物被害が多く、特にシカによる被害が多くを占めています。電気柵による侵入防止等を実施しているものの、被害防止のためにはより効果的な対策が必要となっています。当地域では遠野地域鳥獣害防止現地対策チームを設置し、被害防止対策の実証を行っており、今年度は大型囲いわなの設置によるシカの効率的な捕獲、牧草地におけるスクリーガードフェンス立体柵による食害防止実証を実施しています。

大型囲いわなについては、設定した頭数がわなに侵入すると自動的にゲートが閉まるものとなっており、12月までの餌付け期間中にシカがわなに侵入していることが確認できたことから、1月から稼働しました。稼働して間もなく2頭のシカを捕獲することができました。また、立体柵については、積雪期間も継続して設置が可能であることから融雪直後の食害抑制が期待されます。

今後も実証を継続し、効果を検証の上、現地対策チームを中心に効率的な被害防止対策について地域内への波及を図っていきます。



未来の担い手を育てる『協力隊向け勉強会』



地域おこし協力隊制度は、都市部から地方に移住して地域活性化に取り組み、最終的にその地域への定住を目指す仕組みです。西和賀町では、農業分野で5名の隊員が活動していますが、農業経験が少ない方も多く、基礎から学べる環境づくりが課題となっていました。そこで西和賀町農林課と西和賀普及サブセンターが連携し、「地域おこし協力隊向け勉強会」を企画しました。

勉強会は令和7年11月から令和8年1月にかけて全3回実施しました。普及センター職員が講師となり、病虫害防除や土づくり、西和賀町の気象や災害への備えなど、現場で役立つ基本的な内容を丁寧に紹介しました。また、情報交換の時間も設け、日頃は別々の農家で研修する隊員同士が交流し、活動状況を共有する貴重な機会となりました。

回を重ねるごとに質問も増え、「来年度も続けてほしい」「計画づくりなど実践的な内容にも挑戦したい」といった声が寄せられ、満足度の高い勉強会となりました。



Iwate Agri Frontier School

いわてアグリ フロンティアスクール 受講生募集

令和8年度

経営感覚・企業家マインドを持って
経営革新や地域農業の確立に取り組む
先進的な農業経営者等を養成します！

募集
期間

2026

1/19 → 3/13

月

金

定員 35名

開講期間 令和8年5月下旬～令和9年2月

授業料 21,000円／1年

開講場所 岩手大学農学部等

※ただし、現地研修等の参加費は別途必要な場合があります

(盛岡市上田三丁目18-8)

受講対象者 岩手県内に居住し、大学の受験資格を有する以下の者

- 農業経営者、農業後継者、農業従事者等
- 6次産業化に取り組んでいる者、
又はそれを支援している者
- 農村地域活動に携わる者

(地域振興、土地改良、担い手育成等のリーダー、またはそれらの者を支援している者等)

授業プログラム ① 農業経営科目群 ② 6次産業化科目群
③ 農村地域活動科目群

条件を満たして
修了された方に
岩手大学が認定する
「アグリ管理士」資格
を授与します。



Brush up Program
for professional

本教育プログラムは、文部科学省「職業実践力育成プログラム」に認定され、また、厚生労働省「教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)」の講座指定を受けました。

出願・問い合わせ先 いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局 (岩手大学農学部地域連携推進室内)



TEL: 019-621-6231 FAX: 019-621-6107

E-mail: atiren@iwate-u.ac.jp

主催: いわてアグリフロンティアスクール運営協議会 (岩手大学、JAいわてグループ、岩手県)

募集要項・入学申込書はコチラ

<https://iafs.agr.iwate-u.ac.jp/>

